#### <運営推進会議における評価>

#### 【事業所概要】

法人名	有限会社 在宅ナースの会	事業所名	複合型サービスふくふく寺前
所在地	(〒236−0014)		
	横浜市金沢区寺前 2-5-38		

#### 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ご本人やご家族が住み慣れた地域で意向や希望を尊重した生活が送れるよう全職員が意識し支援していきます
- ・医療依存度の高い方様々な病状、状態の方の在宅療養を支援するとともに、介護者・ご家族も含めた総合的な支援を行います
- ・24 時間 365 日継続して在宅生活および在宅療養ができるよう支援を行います
- ・地域との連携・協議・共存を目指し、地域での開かれた場所つくりを目指します
- ・十分な感染防止対策を実施し、サービスの提供が止まることなく継続できるよう感染防止策を徹底します。
- ・職員研修や、外部研修、オンライン研修等を通して知識や技術の向上に努め積極的に参加できる環境を作ります

### 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価		従業者等自己評価		
実施日	西暦 <u>2021</u> 年 <u>12</u> 月 <u>25</u> 日	実施人数	(16) 人	※管理者を含む

## 運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022年 3月 10日	出席人数(合計)	(_7_) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	☑自事業所職員( <u>4</u> 人) □市町村職員( <u>0</u> 人)	✓地域包括支援	センター職員( <u>1</u> 人)	☑地域住民の代表者( 1人)
山市名 (円頂八)	□利用者 ( 人) <b>☑</b> 利用者の家族 ( <u>1</u> 人) <b>☑</b>	<b>2</b> 知見を有する者( <u>1</u>	_人) □その他(	_人)

## ■ 前回の改善計画の進捗評価

	項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I . 事業運	営の評価	① サービスの質向上ができるよう年間	①年度初めに年間個別計画を立て目標設	①目標設定することで1年後の自分を振
(評価項目	1~10)	個別目標を立てる	定をした。新人オリエンテーションを充	り返ることができ意識して業務に取り組
		新人教育に力を入れる	実させ仲間意識が高まるよう自己紹介の	めた。新人スタッフが職場に慣れることの
		② 情報の共有がスムーズに行えるよう	工夫をした	一助になった
		に努力する。意見の言いやすい雰囲	②ミーティングノートの記入を充実させ	②情報を迅速・的確に報告ができる等にな
		気を作る	た。ドライバーにも目を通してもらえる	りスタッフ同士の声かけも積極的にある
		③ 互いに声掛けを行い休息の時間確保	よう伝達した	③休憩が取りやすい環境にはなっている
		に努力する	③互いに声掛けをしながら休憩時間の確	が、一部のスタッフが休憩できていないこ
		④訓練内容を全職員が把握できるよう動	保に努力した	とがあり課題が残る
		画なども利用する	④防災訓練の内容を動画撮影し不在のス	④動画で視聴することで臨場感があり意
			タッフも視聴できるよう工夫した	識の向上につながった。地域の防災訓練に
				参加し地域での役割を再認識した
Ⅱ.サービ	1. 利用者等の	① 日々利用者・家族とコミュニケーショ	①利用者家族の情報は多職種で共有し変	①利用者家族に寄り添う姿勢で対応し
ス提供等	特性・変化に応じた専門的な	ンを持つことできめ細やか対応ができ	化が生じた際には柔軟に対応できていた	ている。情報はすぐに利用者家族と共有
の評価	サービス提供	小さな変化にも気づけるような関係性	②利用者家族がサービス内容を理解して	することで信頼関係が構築されている
	(評価項目 11	の構築	いるか具体例を用いてわかりやすく説明	②利用開始後も理解できていないとこ
	~27)	② 利用者・家族が利用内容を理解し安心	を行った	ろは繰り返し説明し理解を得ている
		して利用できるようわかりやすく説明	③ACP 用紙の活用を継続して行っている	③ACP 用紙が重要であり今後も継続し
		する		ていく必要がある
		③ACP を積極的に導入し利用者家族の予後		
		予測への考えを共有しあうことで安心し		
		て利用でき意見できる環境を作る		

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28 ~31)	① 主治医・薬剤師・理学療法士等の多種多様な連携が取れており、地域の中での役割を果たす ②緊急時の対応について情報共有し、全職員が対応可能状態にする	①多職種との連携は常に意識し連携できている ②緊急時の対応で重要となるものは利用者ファイルにわかりやすいように明記し、変化があった際は日々のミーティング内で伝達し記録に残している	①電話連絡やインターネットツールで情報共有することで迅速な対応も可能であった ②情報共有することで夜勤スタッフも不安なく業務が行えている
	3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画 (評価項 目 32~41)	①資格習得の研修に参加することで、自信を持ってサービスの提供ができるようになっている ②地域・外部へのアピールが積極的にできるように努力が必要	①資格習得研修に積極的に参加を促し専門的知識の向上に努めている ②医療依存度が高い方でも安心して利用できるよう専門的知識の向上を図っている ③定期的な社内研修を行うことで看護小規模多機能型サービスに必要な役割を理解し実践している	①資格習得することで自信を持ってサービスの提供ができるようになっている ②医療依存度が高い利用者 人工呼吸器、終末期の方への研修や連絡体制を強化することで受け入れが継続できている ③社内研修によりサービスの重要性、事業所の位置付けが理解できるようになっている
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		各関係機関との連携を密にとることで、 どのような状態の利用者でも安心して利 用できるような事業所の位置づけとなっ ている。看護小規模多機能居宅介護事業 所としての質の向上に今後も努力が必要 である	どのような状態の方も受け入れることが でき住み慣れた地域で安心して在宅生活 を怒れるよう総合的に支援した	感染対策に留意しながらサービスの提供 が止まることなく行えた。各関係機関と連 携を取りながらどのような状態の方でも 利用できるような事業所を運営できてい る

- ※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します
- 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目 I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		評価結果	改善計画
		<ul><li>① サービスの質の向上、スタッフのモチベーションの向上と質の向上ができるように個々に目標設定が必要</li><li>② 職員間の情報共有・提供が円滑かつ迅速に行えるようにする</li><li>③ 心身共に休まる時間の確保と場所の提供つくりに努力した</li><li>④ 災害時、緊急時にもサービスが提供できる対応策を実施した</li></ul>	①サービスの質の向上ができるよう努力し、個々に年間計画を立てる ②職員間の情報共有や意見の提示が円滑かつ迅速に行えるようにする ③心身共に休まる休憩時間と場所の提供つくりに努力する ④ 災害時、緊急時にもサービス提供ができるための高い意識と対策 の構築
II. サービ ス提供等 の評価	1.利用者等の特性・変にでは、 特性・変にでは、 では、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	<ul> <li>① 看護職・介護職の両職種の円滑なコミュニケーションを図ることでより適したサービスの提供ができた</li> <li>② サービスの趣旨及びサービス計画の内容を利用者・家族にわかりやすく説明し理解していただいた</li> <li>③ ACP 用紙の活用で、利用者・家族の予後予測への考えを共有しあうことで安心して利用でき、意見できる環境を作った</li> <li>① 主治医、薬剤師、理学療法士等多種多様な連携支援ができている</li> <li>② 緊急時の対応について医療機関と連携し、全職員が対応可能な体制つくりを継続する</li> <li>① 喀痰吸引や認知症研修等、専門的な資格の習得ができるよう支援している</li> <li>②人工呼吸器・終末期の受け入れができる体制を維持し、積極的に受け入れができている</li> </ul>	<ul> <li>①日々利用者・家族とコミュニケーションを円滑に取ることによりきめ細やかな対応ができ小さな変化にも対応できるサービスの提供を目指す</li> <li>②利用者家族が利用内容を理解し、安心して利用できるようわかりやすく説明する</li> <li>① ③将来起きうる多様なリスクを想定しその方の望む暮らし方に添えるよう ACP の活用を継続する</li> <li>①多職種との連携により利用者を中心としたサービスの提供が円滑に行えるようにする</li> <li>②緊急体制の対応について医療機関と連携し全職員が対応可能な体制つくりをする</li> <li>①喀痰吸引・人工呼吸器管理・看取り・難病の方等専門的なサービスが必要な利用者の受け入れができる体制を維持する</li> <li>②定期的な研修を断続的に行い職員の質の向上に努める</li> </ul>
Ⅲ. 結果評 (評価項目	価	③ 定期的な研修を断続的に行い職員の質の向上に努めている 利用者家族が安心して在宅療養ができるよう多職種で情報共有 し、最善の支援を提供している	医療依存度の高い利用者が、家族と住み慣れた地域で安心して暮らせ る体制を維持構築し、どのような状態の方でも利用できるスキルと意

識を持てるよう努力する。感染予防対策を引き続き行いサービスの提供が止まることの無いよう努力する

# ■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	の向上ができるように個々に目標設定が必要 ②職 ③ 職員間の情報共有・提供が円滑かつ迅速に行えるようにする ③心 ① 心身共に休まる時間の確保と場所の提供つくりに努力した ⑤	サービスの質の向上ができるよう努力し、個々に年間計画を立てる 職員間の情報共有や意見の提示が円滑かつ迅速に行えるようにする 心身共に休まる休憩時間と場所の提供つくりに努力する 災害時、緊急時にもサービス提供ができるための高い意識と対策 の構築
II.サービ 1.利用者等の 特性・変化に応 じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ~27)	とでより適したサービスの提供ができた  ⑤ サービスの趣旨及びサービス計画の内容を利用者・家族にわか 指す りやすく説明し理解していただいた  ⑥ ACP 用紙の活用で、利用者・家族の予後予測への考えを共有し すく あうことで安心して利用でき、意見できる環境を作った	日々利用者・家族とコミュニケーションを円滑に取ることによりき 細やかな対応ができ小さな変化にも対応できるサービスの提供を目 け 利用者家族が利用内容を理解し、安心して利用できるようわかりや く説明する ③将来起きうる多様なリスクを想定しその方の望む暮らし方に添えるよう ACP の活用を継続する
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28 ~31) 3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項目 32~41)		多職種との連携により利用者を中心としたサービスの提供が円滑に えるようにする 緊急体制の対応について医療機関と連携し全職員が対応可能な体制 くりをする 喀痰吸引・人工呼吸器管理・看取り・難病の方等専門的なサービス 必要な利用者の受け入れができる体制を維持する 定期的な研修を断続的に行い職員の質の向上に努める

${\rm I\hspace{1em}I}.$	結果評価
信)	严価項目 42~44)

し、最善の支援を提供している

利用者家族が安心して在宅療養ができるよう多職種で情報共有|医療依存度の高い利用者が、家族と住み慣れた地域で安心して暮らせ る体制を維持構築し、どのような状態の方でも利用できるスキルと意 識を持てるよう努力する。感染予防対策を引き続き行いサービスの提 供が止まることの無いよう努力する

- ※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します
- ※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。
- 評価表「事業所自己評価]

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
一号		できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
T	古米海兴不远在「汝切火古米海	いる <b></b>	_ る	( )	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
	事業運営の評価[適切な事業運営	]					
(1)	理念等の明確化						
1) 3	看護小規模多機能型居宅介護の特	持徴を踏ま /	えた理念等	の明確化と	その実践		
1	O サービスに求められる「①医	12	3	1	0	・会議に出席されている職員	利用者が安心して過ごすことがで
	療ニーズの高い利用者の在 宅生活の継続支援」、「②在宅 での看取りの支援」、「③生活 機能の維持回復」、「④家族の 負担軽減」、「⑤地域包括ケア への貢献」を含む、独自の理 念等を掲げている	<b>[具体的な</b> ・ででである。できずい、単病である。できずい。 乗病の	<b>*状況・取組</b>	い方でも在等る体制づきる体制づき返している。 は場を心掛ける。 は場を心掛ける。 の終末期のこ	さで安心し くりができ いようにで う。 体制があり	の方々から常にご利用者と その家族の方の想いを一番 に考えて働いている事が伝 わってきます。 ・医療ニーズが高い方が利用	利用者が安心して過ごすことができるよう日頃から生活機能の維持回復を目指し意欲が出る居心地の良い場所つくりを理念にあげている 来訪者に対しておもてなしの精神を忘れないような声掛けを心掛けている
		援してい・緊急時	-	機応変にて	<b>ごきている。</b>		

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	HI IIM XVE	できている	できてい る	きていない	できていない	意見等	評価にあたっての補足
				,	v った総合的		
			行う理念が		ッ 7 C 小心 口 F J		
		·s人版と	11 万至心(	(W) (W)			
2	O サービスの特徴および事業	6	9	0	0	・特になし	・理念を廊下・事務所にあげること
	所の理念等について、職員が	[具体的	な状況・取	[組内容]			により職員全員が意識し実践でき
	その内容を理解し、実践して	・「明るい	職場」を心	心掛けご利	用者様には		るようにしている
	いる	わかりや	すく声掛け	を行ってレ	いる。		
		・すべて	の職員にま	で浸透して	こいない。		
		•「居心地	也のよい場所	新」となっ <sup>、</sup>	て頂けるよ		
		う心掛け	ている。				
		<ul><li>理念の</li></ul>	理解のため	り定期的なる	研修に参加		
		し「おも	てなし」の	心で接して	いる。		
		・理念を	スタッフか	「見えると、	ころに掲示		
		してあり	ご利用者様	食からも「シ	楽しい」と		
		の評価を	受けている	00			
(2)	人材の育成						
1 1	専門技術の向上のための取組						
3	○ 職員との話し合いなどを通	3	11	1	1	・中長期的な育成計画がある	・年間の所内研修が計画されており
	じて、各職員の中長期的な育	「目 <i>は</i> かかた	 :状況•取組			ということは離職率を低く	事業所での参加率も高い
	成計画などを作成している				1 日挿)ヶ点	することに効果があると思	
					し目標に向	われます。	
				てている。	女乳  両ぶ  -		
		. ,,	, ,		修計画が立		
		くられ表	践されてい	`る。			

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
7		できて いる	できてい る	きていない	できていない	意見等	評価にあたっての補足
		・中長期	 的な育成計	十画が作成る	され、朝の		
		ミーティ	ングで話し	合いがされ	ıている。		
		  ・育成計	画はされて	いない。			
		· 外部研	修推奨と参	加がある。			
4	O 法人内外の研修を受ける機	10	5	1	0	・ICT を活用した研修であれ	・喀痰吸引や認知症実践者研修への
	会を育成計画等に基づいて	[具体的な	状況•取組	<u>.内容]</u>		ば参加者が参加しやすい環	参加をしている
	確保するなど、職員の専門技	• 外部研	修への参加	1の機会がる	あり周知す	境だと思うのでいいと思い	・研修内容の工夫や欠席した職員へ
	術の向上のための日常業務	ることも	ある。			ます。	の対応が課題
	以外での機会を確保してい	• 喀痰研	修・認知症	官実践者研修	<b>修受講の機</b>		
	る	会を随時	設けており	)スキルア	ップになっ		
		ている。					
		・内部、	外部研修の	)機会があ	り参加率が		
		高い。					
		• ZOO	Mやネット	く 議などの	の利用で参		
		加できる	ようにして	いる。			
2	介護職・看護職間の相互理解を済	笑めるため(	の機会の確	保			
5	O 介護職・看護職・介護支援専	8	8	0	0	<ul><li>特になし</li></ul>	・毎朝ミーティングを行い情報共有
	門員の間で、職員が相互に情	[具体的な	状況•取組	内容]			している
	報を共有する機会が、確保さ	・ミーティングを行い記録ノートの活用					・各専門職の意見が反映できるよう
	れている	をして情	報共有する	ら仕組みがる	あり課題が		コミュニケーションを取っている
		あれば各	職種で再度	まの話し合い こうしょうしょう しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃり しゅうしゃ しゃり しゅうしゃ しゃり しゅうしゃ しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり しゃり し	ハを行って		
		いる。					

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		し合いのが ・勤務の フはミー 全職種で	機会を持ち 都合上、参 ティングノ 情報の共有 は業務携帯	記録してい かしてい ートを閲り をしている	ないスタッ <b>覧・押</b> 印し		
_	組織体制の構築						
	運営推進会議で得られた意見等の	)反映		I			
6	〇 運営推進会議で得られた要	5	9	2	0	・職員全員で共有されている	
	望、助言等を、サービスの提	[具体的な	状況•取組	<u>内容]</u>		ということは会議に参加され	にサービスにつなげられるかを話
	供等に反映させている	• 運営推	進会議での	要望・助	言は外部評	ていない職員も地域を意識さ	し合っている
		価と捉え	反映され、	職員全員	で共有でき	れると思うのでとてもいいこ	・防災関係については運営推進会議
		ている。				とだと思います。	の情報が有力である
		・地域の	方からの意	気見交換がる	ありサービ		
		スにつな	がっている	0			
		・話し合	いで得られ	た要望、見	助言をあま		
		り知らない	<i>V</i>				
		・記録物は	は回覧でき	るようにさ	れている。		
(2) J	 職員が安心して働くことができる	     就業環境の	 D整備				

			事業所	自己評価			
番号		よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	п штя п	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
7	○ 職員が、安心して働くことが	いる 6	<u>る</u> 8	2	0		└────────────────────────────────────
'				_	U	  -   久禁光田は1日プロしたノ	
	できる就業環境の整備に努		:状況·取組		11 44 12	介護業界は人員不足とよく	多い日は職員の配置に配慮してい
	めている				休憩が取		
		れるよう	サ責、スタ	アッフ同士派	声掛けを行	が、学ぶチャンスでもある。	・決められた休憩時間を確保できな
		っている。	)				い日がある。声掛けを行い休憩でき
		・急な体	調不良時で	でも安心して	て休める環		るよう配慮しているが、特に行事等
		境である。	)				がある日は困難を極めている
		・有給休	暇の取得、	社内外研	<b>修の参加な</b>		・新型コロナウイルス感染症の危機
		ど、就業!	環境の整備	がされてい	いる。		感を常に持ち、体調不良時でも柔軟
		・公休が	とれるよう	シフトが紅	狙まれてい		に対応し安心して働ける環境づく
		る。					りをしている
		・人員不	足のため不	「満を聞く、	ことが多く		・PCR 検査を定期的に実施し、安
		ある。					全に職務遂行できるように努力し
		<ul><li>体調不</li></ul>	良や休み希	う望を伝え <sup>い</sup>	やすく、精		ている
		.,,,,			対応し良い		
		, .	ハてくれて		17/2 0 20		
		221.1 41.		• • •			
(4)	│ 情報提供・共有のための基盤整備	<u> </u>					
	利用者等の状況に係る情報の随時		生のための	環境整備			
8	○ 利用者等の情報について、随	6	10	0	0	<ul><li>・特になし</li></ul>	
	時更新を行うとともに、必要	-	 :状況•取組	 内突]		141 = 01 0	ッフにもノートを活用し情報が伝
	に応じて職員間で迅速に共			<del>[7]日]</del> 情報を共有	コープレス		達できるようにしている
	有できるよう工夫されてい			開報を共行 と 周知できる	=		<b>!</b>
			心に仏厓し	プログラグ	シェンにし		
	る	ている。					るようにしている

			事業所				
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	н і іші ж і	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
		・由 ) 送	<u>る</u> りノートに	い   :   記載 1 離間	員全体が周		
		–	ょうにして ようにして	. , , . , . ,	₹上(十/\ <sup>1</sup> /\ <sup>1</sup> )□		
		がいるの。	よりにして	いる。			
/F\ +	7.人然现 <b>么</b> 然点						
	そ全管理の徹底						
① 各和	種の事故に対する安全管理						
9   0	) サービス提供に係る利用者	6	10	0	0	・ヒヤリハット等の振り返り	・ヒヤリハット・事故事例はミーテ
	等および職員の安全確保の	[具体的	な状況・取	組内容]		をすることは再発防止になる	ィングの時間を活用し振り返りを
	ため、事業所においてその具	・事故事	列に対して	は KTY を行	行い事故回	と思うので大切だと思いま	行い KYT (危険予知トレーニング)
	体的な対策が講じられてい	避能力が「	向上されて	いる。		す。	を行い再発防止に努めている
	る	<ul><li>交通安全</li></ul>	全について	は無理の	ない配車を		・全車ドライブレコーダーを装着し
		協力的に征	うえている	0			ている為、運行上危険な場面があれ
		• 感染予	防委員会が	バアンケー	トで各事業		ば研修で振り返りを行っている
		所の現状	把握に努め	対策が講り	じられてい		・感染予防対策チェックリストを活
		る。					用し日々の予防対策の確認を 1 回/
		<ul> <li>各事業</li> </ul>	折の事故報	告書やヒー	ヤリハット		月実施している
		の情報を	管理者会議	利用者およ			
		び職員安全	全確保のた	めの対策が			
		ている。					
		・ご利用	者様の病状	ぐや体格に。	よっては複		
		数人の看	護師、スタ	マッフでケブ	アにあたり		
		安全確保	を維持して	いる。			
② 災	書等の緊急時の体制の構築						

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	HI IM. & H	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
10	O 災害などの緊急時において	いる 8	る 7	1	0	・町内の防災訓練に職員の方	・定期的な防災訓練により緊急時の
	も、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行いる、備いるでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	東で様々な 連で様々な 記録で確認 品について 。 思方法、連絡 だには消防	<ul><li>文省を踏まる。</li><li>お日々管理</li><li>格先リス防</li><li>ア・消防</li><li>など</li></ul>	が参加して頂けました。町内 としても今後はさらに情報共 有を勧めていけるといいと思 います。 ・地域の防災訓練に参加して 情報を共有する事は災害時に 効果を発揮できると思いま す。	うことも考慮していく。津波の避難 訓練についても次年度実施してい く ・町内の防災訓練にも参加し情報共
	サービス提供等の評価						
	利用者等の特性・変化に応じた専門						
(1)	利用者等の状況把握及びアセス	メントに基っ	が計画の作	成			
1) 7	利用者等の 24 時間の暮らし全体	に着目した	、介護・君	<b>重護両面かり</b>	うの一体的な	マアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況	8	8	0	0	・特になし	・自宅で安全に安心して生活できる
	や家族等介護者の状況等を	[具体的な	:状況•取組	内容]			ようにサービス利用中に心身共に
	含む、利用者等の 24 時間の	• 訪問し	状況変化時	fはその都原	度アセスメ		整えてから在宅に戻れるよう努力

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている	<ul><li>・24 時間</li><li>・アセス</li><li>所内で検いる。</li><li>・宿様の</li></ul>	対応の体制  メントで作    討され必要    や家族から	导られた情報 要時に家族。 の情報を含った必要なった必要なった。	製は、事業 へ提案して 合わせご利 サービスを		している ・訪問時に家族と話す機会を持ち情報収集を積極的に行っている 看護・ケアマネージャーだけでなく 介護スタッフも訪問できることで 利用者の背景を知り、より良いサービス提供ができるため課題としたい
12	O 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス メントの結果が、両職種の間 で共有されている	<ul><li>・両者であいなが・ミーテい同じ目・連絡ノ</li></ul>	ら取り組ん イングや申 標に取り組 ートを利用	ノ、思いや ノでいる。	どで話し合	・看護職・介護福祉士の方は何名いるのですか?	・看護 (5名) 介護 (8名) ・看護・介護のコミュニケーション がしっかりと取れている お互いの気付きを伝えあえる関係 性である
2 5	 利用者等の「尊厳の保持と自己実						
13	O 家族を含む利用者等の考え	9	7	0	0	・特になし	・個々のファイルが作成されており

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	を把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	<ul><li>ご利用者</li><li>されてい</li><li>・本人や</li><li>目標達成</li><li>・訪問や</li><li>を把握す</li></ul>	る。 家族の意向 に向けた計 電話連絡な ることがで	 ・人に対し糸 可に沿った! ・画書がある	時々の思い		見直しも行えている
14	O 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	・生活リ 行ってい ・意欲を ADL 低下 ・自立支 いる。	る。 持って頂 の予防に繋 援を考慮し	ーー P心に継続 けるよう言 Witている。 た計画作	0 したケアを +画を行い 式がされて ていること	・利用者家族は連絡ノートの 内容が日常生活では知る事 が出来ない行動を把握する 事ができる。	に力を入れ、マンネリ化しない様情
3 7	利用者の今後の状況変化の予測と	・、リスク智	管理を踏ま	作成			
15	〇 利用者の今後の状況変化の	7	9	0	0	・特になし	・状況変化の予測とリスク管理は日

			事業所	自己評価							
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・				
号	HI IIII X H	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足				
	予測と、リスク管理を踏まえ	いる 「 <b>旦休的</b> だ	る :状況・取組	い 内容]	V)		常的に行い、必要時は主治医に報告				
	た計画が作成されている				よう計画に		し事前に指示をもらうなどタイム				
	/こ計画//打下/及されたくいる			かっている。	よ ノロ 凹 に						
		反映されて	- 0	112 HW - 2 - 18	対なけるよ		リーに計画修正されている				
					緊急時の対						
				を立ててレ	- 0						
					家族の介護						
		状況、本	人の状況に	合わせてり	見直しが行						
		われてい	る。								
(2)	利用者等の状況変化への迅速な	対応とケア	マネジメント	の実践							
1) #	継続したアセスメントを通じた、	利用者等の	の状況変化	の早期把握	と計画への	反映					
16	O サービス提供を通じた継続	7	9	0	0	・その日の行動を観察し記録	・日々の変化の中で小さな変化も見				
	的なアセスメントにより、利	[具体的な	:状況•取組	 <u>内容]</u>		してくれている事が連絡ノ	逃さない様に観察を行い共有して				
	用者等の状況変化を早期に	・アセス	メントの#	<u>ーー</u> に有により I	日々の変化	ートの随所で感じられる。	いる。病状の変化により計画が変わ				
	把握し、計画への適宜反映が	に早期に	対応して計	・画修正して	こいる。		ったときには再度計画の立て直し				
	行われている				で把握して		を行っている				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		映している		(12)10						
				U							
(2)	居宅への訪問を含む、利用者等の	と 長らし全体	本に着目し	たアセスメ	ントの実施	と計画への反映					

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	21,122,111	できて いる	できている	きていな い	できていない	意見等	評価にあたっての補足
17	O 通い・泊まりの利用に過度に	10	5	1	0	<ul><li>・特になし</li></ul>	・送迎時にも1日の様子を家族に伝
	   偏らないよう、適時適切に利	「具体的な	└──── `状況•取組	 内容]			えるとともに家族の状況を把握す
	用者宅を訪問することで、家				あり状況把		るように努めている
	族等を含めた居宅での生活	握されて					
	   状況の変化を継続的に把握	· 訪問を	することて	在宅での	生活変化を		
	している	   把握し見	極めて状況	に合わせる	た対応をし		
		ている。					
		- - ご利用	者様、ご家	で族の希望(	こ沿い柔軟		
		に対応し	ている。				
3 7	ー 利用者等の状況変化や目標の達成	・ 対状況等に	関する関係	多職種との	情報共有	I	
18	Ο 利用者等の状況変化や目標	9	7	0	0	特になし	・利用者家族の希望、目標を阻害因
	の達成状況等について、主治	[具体的な	状況・取組	 内容 <u>]</u>			子となり得る状況の変化があった
	医など、事業所内外を含む関	・主治医	訪問の際は	は看護師が。	必ず付き添		際は主治医・関係機関に報告し対策
	係多職種と情報が共有され	い情報と	共有してい	る。			が検討される
	ている	・日頃か	ら主治医、	看護師、病	病院 MSW、		
		薬剤師、	介護士、理	型学療法士、	ケアマネ		
		ージャー	など情報共	有が行われ	ている。		
(3):	介護職・看護職の協働による一体的	的なサービ	スの提供				

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	#1 IIII X II	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
	 介護職と看護職の相互の専門性を	いる ·生かしたき	を動かせー	レスの提供	<i>\</i> \		
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ	14	2	0	0	<ul><li>・特になし</li></ul>	・介護職が専門的な研修を受けるこ
19				Ů	U	・村になし	
	の専門性を最大限に活かし		状況•取組				とによりサービス提供が可能となっ
	ながら、柔軟な役割分担が行			行われてい	-		ている。医療ニーズの高い利用者へ
	われている	• 医療二	ーズの高い	いご利用者は	<b>兼には看護</b>		の指導を繰り返し行い不安なくケア
		師の指導	、支持を仰	りぎながらな	ケアを実践		が実施できるよう努力している
		している。	)				・担当表の明確化により各々の役割
		・それぞ	れの専門性	性を生かした	た役割分担		を果たすとともに、お互いに協力し
		はあるが	各職種が協	協力し合い	ケアにあた		合ってサービスの提供ができている
		っている					
20	O 利用者等の状況について、介	12	4	0	0	・利用者に関するプラス・マ	・お互い協力し合い、手が足りない
	護職と看護職が互いに情報	[具体的な	状況・取組	<u>内容]</u>		イナスのできる限りありの	時には助け合える環境となってい
	を共有し対応策を検討する	・朝のミ	ーティンク	でお互いの	の情報交換	ままの内容を家族に遠慮な	る
	など、両職種間の連携が行わ	が行われ	対応策の検	討をしてい	いる。	く記載して欲しい。	
	れている	・ミーテ	ィングで共	は有し不明7	なことは確		
		認を行って	ている。				
		・両職種	間の連携で	で事故防止し	こ繋げてい		
		る。					
		90					
(D) 3	 看護職から介護職への情報提供ま						
21				0	0	. 供1ァナx 1	・批価コントロニュ の場体之吐効)。
_ Z1	○ 看護職から介護職に対して、	12	4	0	0	・特になし	・排便コントロールや褥瘡予防等に

			事業記				
平		よく	おおよそ	自己評価	全く	   運営推進会議における	評価の視点・
番号	評価項目	できて	ー かわよて できてい	めまり C きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
		いる	3	N .	N	15771.42	н і іштобуто э С • / IIII/C
	疾病予防・病状の予後予測・	[具体的な	状況•取組	<u>.内容]</u>			ついて今後の対応策の提案ができ
	   心身の機能の維持回復など	・ミーテ	ィング、道	 車絡ノート <sup>~</sup>	で情報の共		ている
	の観点から、情報提供や提案		ができてい		. 114 114		・医療ニーズの高い方の対応時の不
	等を行っている			=	り不明なこ		安は看護師の繰り返しの説明と指
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				リ不明なこ		
		. ,	確認してい	- 0			導で軽減している
					クの対応な		
		どのアド	バイスがあ	る。			
(4)	└── 利用者等との情報及び意識の共有	<u> </u>					
			*シェーシング	のは却担供			
	利用者等に対するサービスの趣旨	, , , , ,	<u> </u>	17月報促供	I		
22	○ サービスの趣旨および特徴	8	7	1	0	・特になし	・具体的なケアプランを提示し様々
	等について、分かりやすく説	[具体的な	状況•取組	.内容]			な利用方法を提案し理解が得られ
	明し、利用者等の理解を得て	・サービ	ス開始前に	二理解しや つ	すく十分な		るようし取り組んでいる
	いる	説明を行	いっている	00			
				· ·提案してV	いる。		
					る。 返し説明し		
		· · · ·	-	• •			
				いことがあ	-		
			得にくい問	守には何度 <sup>3</sup>	も説明して		
		いる。					

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
与		できて いる	できてい る	きていない	できていない	意見等	評価にあたっての補足
2 5	 利用者等への「在宅での療養生活	_		,	V .		
23	O 作成した計画の内容や在宅	8	7	1	0	・特になし	・納得していただけるまで丁寧に説
	での療養生活の継続に向け	[具体的な	状況•取組	<u>内容]</u>			明を行っている
	て留意すべき点等について、	・理解不	足があるク	ースでは	管理者やケ		
	分かりやすく説明し、利用者	アマネが	時間をかけ	けて個別で記	説明してい		
	等の理解を得ている	る。					
		・病気に	よっては縛	ぬり返し説!	明しても全		
		てのご利	用者様が	理解するこ	ことは難し		
		い。					
		・自宅で	必要な医療	をケアがある	れば主義を		
		確認して	いる。				
		・ 困った	ことがあれ	ルば相談で:	きるよう対		
		応してい	る。				
24	O 利用者等が行う医療処置や	11	5	0	0	<ul><li>特になし</li></ul>	・在宅での介護屋医療処置について
	医療機器の取り扱い方法、家	[具体的な	状況∙取組	 内容]			の不安がないか、手技はどうか訪問
	族等が行うケアの提供方法	<ul><li>・在宅で</li></ul>	必要なケア	 7は訪問な。	どを行い繰		時に確認をしている
	等について、分かりやすく説	   り返し指	導し支援し	ている。			
	明し、利用者等の理解を得て	・すべて	のご利用者	が理解	することは		
	いる	病気によ	り難しい。				

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号	н шжн	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
(3) 1	 重度化した場合や終末期における	いる  対応方針の	<u>       る       </u> カ、利用者	い 等との相談	い  と共有		
25	○ 利用者本人 (意思の決定・表	11	5	0	0	<ul><li>特になし</li></ul>	・利用者本人、家族の意見を十分に
	示ができない場合は家族等)	 <u>[具体的な</u>	└──── :状況•取組	 内容 <u>]</u>			傾聴し希望するサービスが遂行で
	の希望や意向を把握し、サー	・本人、	家族と話し	合い連絡を	を取り合い		きるように主治医とも情報共有し
	ビスの提供に反映している	希望や意	向を把握し	て確認しれ	ながらサー		ている
		ビス提供	に反映して	いる。			・いつでも変更可能であり見直しを
		・主治医	を始め関係	機関と共	有しサービ		行っている
		ス提供に	反映してい	る。			
		・必要時	には見直し	がされてい	いる。		
26	O 在宅生活の継続の可否を検	8	8	0	0	・特になし	・今後起こり得ることへの予測・検
	討すべき状況を予め想定し、		· :状況•取組	 <u>内容]</u>			討・相談しやすい環境つくりを行っ
	その際の対応方針等につい	・本人の	意向を把握	量し対応策 を	を検討して		ている
	て、利用者等と相談・共有す	いる。					・本人家族の希望に添える努力をし
	ることができている	・早め早	めの対策を	:講じご利力	用者様や家		ている
		族と共有	することで	で不安の軽液	咸を行って		
		いる。					
27	O 終末期ケアにおいて、利用者	11	5	0	0	・特になし	・医師の説明のもと不安なく最期を

番号	評価項目	よく できて	おおよそ できてい	自己評価 あまりで きていな	全く できていな	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	・終末期 看取れる ・主治医 向を確認 ・ACP の	ように傾聴 の診察、子 し記録して	では不安 に記録をし 後予測か いる。 態変化に伴	ら家族の意 うプランの	・特になし	迎えられるように記録をしている
2. 🔞	 						
(1)	病院・施設等との連携による円滑	で切れ目の	ないケアの	)提供			
1) }	<b>病院・施設等との連携や情報共</b> 存	等による、	在宅生活	への円滑な	移行		
28	O 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等 からの、利用者の円滑な在宅 生活への移行を支援してい る	<ul><li>・退院前病院との行ができ</li><li>・退院後</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・プログラント</li><li>・退院との方ができ</li><li>・退院との方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの方ができ</li><li>・返りの</li></ul>	連携が取れている。 も必要時にいる。 いる。 によっては	ーー ・ ンスには。 ・	0 必ず参加し 宅生活の移 SW などと 前に宿泊し する配慮が	<ul><li>・退院の許可はでても受け入れる家族には不安がある。</li><li>ふくふくの方で受け入れ、キャッチをしっかりしてくれている。</li><li>・新規の依頼は病院からが多いのですか?</li></ul>	す。往診医からも依頼あります。

			事業所	自己評価			
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
方		できて いる	できてい る	きていない	できていない	意見等	評価にあたっての補足
		ある。	v	,	1		
		_					
2	 入院・入所の可能性がある利用者	ずについての		 等との対応	方針の共有		
29	O すべての利用者について、緊	8	8	0	0	<ul><li>特になし</li></ul>	すべての利用者の主治医より訪問
	急時の対応方針等を、主治医	[具体的な	状況•取組				看護指示書を頂き毎月報告書を提
	等と相談・共有することがで	・すべて	の主治医が	誰であるた	かの把握が		出している
	きている	できてい	なかった。				
		・ご利用	者様の緊急	時の連絡を	<b>先、主治医</b>		
		がすぐに	わかるよう	ケアプラン	ンにも記載		
		がある。					
		• 緊急時	の対応方針	<b>小が相談、</b> 対	<b>共有されて</b>		
		いる。					
		・指示書を	を元に方針	を確認共有	「している。		
3	地域の医療機関等との連携による	5、急変時	·休日夜間	等に対応可	能な体制の	構築	
30	Ο 地域の医療機関等との連携	12	4	0	0	・24 時間緊急時対応してもら	・24 時間緊急時に対応できるよう
	により、休日夜間等を含め	[具体的な	状況•取組	内容]		えるのは本人、家族にとって	に体制つくりをしている
	て、すべての利用者につい	・緊急時	には主治医	より支持を	を頂け、対	安心できると思います。	
	て、急変時に即座に対応が可	応できる	本制づくり	ができてレ	いる。		
	能な体制が構築されている	・24 時間	緊急時に対	対応できる値	体制をとっ		
		ている。					
		• 緊急時	に対応でき	るようファ	アイルに記		

				自己評価			
番号	評価項目	よく できて	おおよそ できてい	あまりで きていな	全く できていな	運営推進会議における   意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		いる	3	l a cont	(5 (1))	息光寺 	計画でありたりでの推定
		入されてい	いる。				
(2)	多職種との連携体制の構築						
① j	軍営推進会議等における、利用者	行のために必	必要となる	包括的なサ	ーポートにつ	いての、多職種による検討	
31	O 運営推進会議等において、利	10	5	0	0	・毎回、有意義な話し合いが	・包括支援センター職員・町内会
	用者のために必要と考えら	[具体的な	状況•取組	内容]		出来ていると思います。	長・民生委員の方々に出席していた
	れる包括的なサポートにつ	• 定期的	な開催が実	<b>尾施され情</b> 報	報共有でき		だき様々な情報提供や提案が行わ
	いて、民生委員・地域包括支	ている。					れている
	援センター・市区町村職員等	<ul> <li>町内会:</li> </ul>	長、民生委	· 員、地域包	包括支援セ		
	への情報提供や提案が行わ	ンター、	地域に知見	見を有するこ	運営者様の		
	れている	出席があ	り情報提供	が行われて	ている。		
		・朝のミー	ーティング	で内容の報	8告がある。		
3. 計	<b>惟でも安心して暮らせるまちづくり^</b>	の参画					
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案					
1	サービスの概要及び効果等の、地	域に向けた	た積極的な	情報の発信	<u> </u>		
32	〇 運営推進会議の記録につい	12	3	1	0	・会議での内容が職員に周知	・会議後に報告書を作成しファイリ
	て、誰でも見ることができる	[具体的な	状況•取組	内容]		されている。地域の情報を共	ングして回覧できるようにしてい
	ような方法での情報発信が、	<ul><li>議事録</li></ul>	はファイル	してあり	誰でも見る	有できると思うのでいい事	る。また翌日のミーティングで会議
	迅速に行われている	ことができ	きるように	している。		だと思います。	の内容を報告している
		<ul><li>会議で</li></ul>	の内容はミ	(一ティン)	グで報告が	・包括内でも運営推進会議の	
		行われてい	いる。			内容は周知しています。	

			事業所	自己評価								
番号	   評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・					
号	HI IIII. X H	できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足					
		いる	<u>る</u>	N	リーリー							
				-なつ (い	るが見たこ							
		とがない。										
33	O サービスの概要や地域にお	2	6	7	1	・防災訓練に参加して頂けた	・ZOOM を利用した会議の参加や					
	いて果たす役割等について、	[具体的な	:状況•取組	内容]		のはありがたかったです。ま	緊急事態宣言解除中に病院での事					
	正しい理解を広めるため、地	・コロナ	ウィルスの	影響もあ	りあまり行	た、コロナの影響で地域の子	例八表を行い看護小規模多機能の					
	域住民向けの積極的な啓発	えていない	√ \ <sub>0</sub>			供たちとの交流ができなく	特徴をアピールできた					
	活動が行われている	・地域の	防災訓練へ	参加してレ	いる。	なり残念でしたが今回は敬	・地域の防災訓練に参加し地震体験					
		<ul><li>病院で</li></ul>	の事例発表	そに参加した	啓発活動を	老の日に子供たちの手作り	車に乗り体験することで、実際に災					
		行った。				メッセージカードをお届け	害が起きた時の様子をイメージす					
		・ボラン	ティアの力	デ々に協力 <sup>®</sup>	していただ	する事が出来て喜んでいた	ることができた					
		き情報発信	信している	0		だけたのでお互いに嬉しい						
						交流となりました。						
(2)	│ │   医療ニーズの高い利用者の在宅	での療養生	 活を支える		としての機能							
	乍吱小炕笑夕饭比尘石七儿 丧事未	ミガマン・豆図水イ	コメントで 古	び、地域へ	看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							

番号	評価項目 O 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対		おおよそ できてい る 4 <b>*状況・取組</b>		全く できていな い 9	運営推進会議における 意見等 ・特になし	評価の視点・ 評価にあたっての補足 ・地域住民の方からの依頼は積極的 に受けたいが、現状は看護師体制が
	象とした訪問看護を積極的に実施している			きていな <i>\</i> 対応できて	-		事業所利用者以外に対応すること が困難である 看護体制を整えられるように努め ていく
2	医療ニーズの高い要介護者の積極	動な受け	入れ				
35	○ 「たん吸引」を必要とする要 介護者を受け入れることが できる体制が整っており、積		<u>1</u> : <b>状況・取組</b> して積極的		0   (4)   (4)   (5)   (6)   (7)	・痰吸引の資格取得を積極的 に行っており医療依存度が 高い方を受け入れている事	できるようにしている。充電式の吸
	極的に受け入れている	いる。 ・受け入	れ態勢が取 持ったスタ	れている。		は素晴らしい事だと思います。	く対応できる ・医療依存度が高い利用者でも対応 できる職員が多く在籍している
36	O 「人工呼吸器」を必要とする	13	3	0	0	・現在、人工呼吸の方はいる	・利用者・家族が安心出来きるよう

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	要介護者を受け入れることができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	・ 人 れるた ・ 研修を 図れた。 ・ 人 近 が 行 に が 行 に が に が ら に ら に ら に ら ら ら ら に ら ら に ら ら に ら	め研修を行 通してスタ 吸器を使用 える支援を	ーー った。 リッフの意 リッフのまり していて している。	者様を受け 思の統一が も安心して よう看護師	のですか?	に研修を行い、夜間対応時には細かな不安が生じた際にも看護師にいっでも連絡しやすい体制を取った。 ・送迎時にも看護師が同乗し安全に配慮している
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	<ul><li>・ご本人</li><li>い安心し</li><li>・医療機</li><li>ができて</li></ul>	て支援して関、家族と	 E様の意向: いる。 の連携が <sup>-</sup>	<b>0</b> を充分に伺 可能な体制 う。	<u>・特になし</u>	・看取りに対する職員の意識が高く 事業所の役割を理解している ・主治医・看護・介護職と連携が取 れる体制にあり積極的に受け入れ ている
F	<b>地域包括ケアシステムの構築に</b> 行政の地域包括ケアシステム構築						

番号 38	評価項目  ○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	・管理者 る。	おおよそ できてい る 8 <b>*状況・取組</b> が研修に参	<del></del> ネ加し理解レ	全く できていな い 0 こ努めてい スが地域役	運営推進会議における 意見等 ・社会資源として医療依存度 が高い方の受入れや自宅で 過ごしていく為に手厚い介 護を提供されており地域と の関わりも素晴らしいと思	評価の視点・ 評価にあたっての補足 ・地域包括ケアの重要性をミーティ ングや研修等で説明している
	サービス提供における、(特定の)	システム る。 ・社外研( 建物等に限	の取り組み 修を通りし 定しない)	なについてま て意識でき	展開	います。	
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	・特定の: 供エリア る。 ・地域に: 供をして!	内の積極的 対して広く いる。		サービス提 れをしてい サービス提	・特になし	・金沢区内全域でのサービスを提供している

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における	評価の視点・
号		できて	できてい	きていな	できていな	意見等	評価にあたっての補足
40	 ○ 介護・看護の観点から、地域	いる 6	る 8	2	0	 ・特になし	・必要時応じてボランティアの方々
	の関係者に対し、必要に応じ	 [具体的な	∵ 状況·取組	 内容 <u>]</u>			やインフォーマルなサービスに結
	て課題提起や改善策の提案	· 「SOS >	ネットワー	 ク」「認知 <sup>®</sup>	症サポータ		び付けている
	等が行われている	ー」等の	習得を行っ	ている。			
		• 運営推	進会議なと	により取り	り組みが行		
		われてい	る。				
		• 災害時	の地域支援	受体制の確認	認を行って		
		いる。					
		・地域に	対して課題	題提起や改善	善策はあま		
		りされて	いない。				
		<ul><li>地域の</li></ul>	ボランティ	アと活動な	ができてい		
		る。					
41	O 家族等や近隣住民などに対	2	11	3	0	・特になし	・家族の依頼があれば柔軟に対応し
	し、その介護力の引き出しや	[具体的な	状況•取組	内容]			指導を行っている。自宅で主義の確
	向上のための具体的な取組	<ul><li>家族の</li></ul>	介護技術な	と継続的に	こ行ってい		認相談も行っている
	等が行われている	る。					
		<ul><li>電話や</li></ul>	訪問などて	ご生活上の竹	凶みを伝え		
		てもらえ	る環境を整	をえ介護力の	の引き出し		
		や向上に	繋げている	0			
		• 近隣住	民には取り	組めていな	とい。		
		• 住環境	などの整備	前で転倒予!	坊に繋げて		
		いる。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш	結果評価			
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利用 者ごとの計画目標が達成さ れている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (6人) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (10人) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  [具体的な状況・取組内容] ・状態に応じてサービス提供内容を変更し迅速かつ的確な対応ができている。 ・各利用者の計画目標が理解できていない。 ・サービスを組み合わせて計画目標が達成されている。	・特になし	・利用者家族の状況変化に対応し目標達成できるように支援している

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
2	在宅での療養生活の継続に対する	安心感		
43	O サービスの導入により、利用 者およびその家族等におい て、医療が必要な状況下にお いての在宅での療養生活の 継続に対し、安心感が得られ ている	<ol> <li>ほぼ全ての利用者について、達成されている(10人)</li> <li>利用者の2/3くらいについて、達成されている(6人)</li> <li>利用者の1/3くらいについて、達成されている</li> <li>利用者の1/3には満たない</li> <li>[具体的な状況・取組内容]</li> <li>・医療連携により在宅生活が安定して行えるよう継続した支援が行えている。</li> <li>・重複した医療行為のある方や認知症のある独居の方の在宅支援の対応ができている。</li> <li>・いつでも連絡の取れる体制で安心感を持って頂けている。</li> </ol>	・特になし	・医療ニーズの高い利用者家族でも安心して在宅生活が送れるよう支援している ・多職種で連携が取れており安心感につながっている
44	O サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol> <li>ほぼ全ての利用者について、達成されている(11人)</li> <li>利用者の2/3くらいについて、達成されている(5人)</li> <li>利用者の1/3くらいについて、達成されている</li> <li>利用者の1/3には満たない</li> <li>看取りの希望者はいない</li> </ol>	・特になし	・自宅に居るような雰囲気で安心して 過ごしていただけるように努めてい る ・看取りの不安が軽減するよう家族に 寄り添い、自宅での看取りが困難な場 合は事業所を利用していただき、希望

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		[具体的な状況・取組内容] ・多職種間の連携が取れ安心して最後までご利用いただけている。 ・急変時は看護師より説明があり安心感して過ごしていただけている。 ・今までのお看取りのご家族から多くの感謝の言葉を頂いている。		に沿い家族の付き添いも行っている